

「家族を頼れない子ども」に寄り添う

子どもの育ちを支える社会的養護

第41回母と女性教職員の会 兵庫県集會 記念講演

1月21日、ラッセホールで開催した「第41回母と女性教職員の会 兵庫県集會」の全体会でおこなわれた畑中通夫さん(施設で生活する子どもたち支援研究会)による講演「家族を頼れない子ども」に寄り添う子どもの育ちを支える社会的養護」の要旨(一部抜粋)を掲載する。



畑中 通夫さん
施設で生活する子どもたち支援研究会 共同研究者

記念講演要旨(一部抜粋)

子どもの貧困

経済的な格差が固定化し、子どもの貧困と言われている低所得の家庭が増え、生活保護・就学奨励を受けている子どもが6人に1人いる。このような子どもたちがどのように暮らしているか、学力がどうなのか一度思い出して欲しい。経済的な格差が何を生んだかという子どもの育ちの環境の悪化である。その例が児童虐待である。全国の児童相談所の児童虐待の相談件数は1990年調査開始では、1,101件であったが、2016年には12万件に増えた。これは、児童虐待防止法ができて、みんなの目が行き届くようになってきていることあるが、子どもの育ちの状況が年々厳しくなっていることを示している。

社会的養護とは

どのような親のところに生まれても、歓迎され、大切に育て育つことができるように、十分に大人になる準備ができるように、社会がサポートする義務がある。それでも、親が、子どもに安心して育つ環境を提供できない時がある。それは社会が十分に親を応援できなかったとも言える。

90年代の進路保障の課題

子どもの声を届けよう

90年代、児童養護施設で暮らす子どもたちは、中学1・2年生では落ち着いた学校生活ができていたが、3年生になると落ち着かなくなることがあった。高校進学がどの子にも保障されていないことが背景にあった。施設の経済的負担が大きいの理由である。当時、県内の児童養護施設では施設によって進学が保障されていたり、されていないかたたりしていた。通学のための経費のかかる施設の進学率は低かった。

児童相談所が措置する施設によって、進学保障が左右されている現状は納得できず、学校が児童相談所に掛け合うこともあった。施設との懇談会や、連絡会で入所までの子どもの生育環境を知るために、大変なことが世の中で起きていることを知った。個々の教員の良心的な実践ではなく、学校の組織として児童養護施設と関わることを決め、同和教育部を窓口にしていくんだ。学校の同和教育の課題として、「部活問題の解消」と「児童養護施設の進路保障」を挙げたのは1996年である。

- ◆市教委への要請内容
- ①子どもの高校進学経費を公費で賄うこと
 - ②中学校がおこなう活動の援助(ケース会議、研修会、学習会補助、進路保障)
 - ③学校カウンスリングをおこなうために、必要な職員配置
 - ④必要な教員の配置
 - ⑤関係団体と研究協議の場を設けると共に、人権教育の指導指針を出すこと(90年代)

施設退所後の暮らしについて
施設を卒業した子どもたちが一体どんな状況かという大変な現実。兵庫県が実施した「児童養護施設退所者に関する実態調査報告書」によると、8年〜12年度の5年間で退所した子ども、25歳以下の青年の生活実態が示されている。現在仕事をしている子が83%、仕事の身は正規雇用が50%。また、生活保護を受けている若い人が6%いる(受給経験者を合わせたら10%)。最終学歴が中学卒11%(子育て支援基準が兵庫県はできていないので、ほとんどの子が高等学校へ進学した。しかし、10%以上の子がやめてしまった。ただし、退学した子は、退所して進学した子が多いという話は施設の関係の方から聞いている。

私は、94年に山口中学校で、児童養護施設の子どもたちと出会って以来、いろいろな形で子どもたちとかわり続けている。退職後は、何人かの施設退所者と連絡を取り合っ見て見守りをしていくが、退所者の暮らしは厳しく、確実に貧困の連鎖が続いている。あこがれた新婚生活が破綻し、シングルマザーとなり、生活保護を受けながら生活している人、アルバイトで食いつないでいる人、子どもを児童養護施設に預けた人がいる。何人かは、安定した職業に就き、暮らしも安定させているが、この人たちが今の暮らしを得るまでに大変な困難に出会ったのを見てきた。

これは、自立支援制度の貧困さを物語るものであり、退所後の相談体制を含めて、課題は大きい。

「児童養護施設で生活する子どもたち支援研究会」は創設して10年になる。教育関係者と福祉関係者が一緒になって、研究会を設けているのは全国でも兵庫県だけである。

この研究会がおこなっているのは、施設の子だけではない。家族を頼れない子どもたちの自立支援をどう進めていくかという実践交流会である。

この先は、児童養護施設の小規模化・地域分散化が進む。50人を超えた大舎制から、小規模・ユニット制(6人程度のグループでの暮らし)や個人のプライバシーが尊重される個室もでき、より家庭生活に近づいていく。そして、子どもも必要なら子どもたちに、対策法を届けて欲しい。

さらには、各市町に要対協(要保護児童対策地域協議会)があるので活用していただきたい。地域ぐるみの支援体制が必要なので、学校で抱え込まないようにはする必要がある。

子どもや親の側からは、声をあげられないので、わかついて、気づいた先生方がその人たちに代わって声をあげてほしい。

お正月ファミリーパズルに
ご応募いただき、ありがとうございます。応募総数122通のうち、正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、県教員の記念講演「日本の教育の課題―選別と教化の圧力に抗して―」を読んだ感想として、「子どもたちの将来を考える上で、大人が何をすべきか考え、行動しなくてはいけないと強く感じた」「物事を考察したり、論じたりしている」とする時、多角的かつ具体的な説明が大切であると感じた」といった声が寄せられました。

その他に「現在現場を離れているが、教育の動向を知ることができて嬉しい」など、この研究会がおこなっているのは、施設の子だけではない。家族を頼れない子どもたちの自立支援をどう進めていくかという実践交流会である。

お正月ファミリーパズル当選者発表

お正月ファミリーパズルに
ご応募いただき、ありがとうございます。応募総数122通のうち、正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、県教員の記念講演「日本の教育の課題―選別と教化の圧力に抗して―」を読んだ感想として、「子どもたちの将来を考える上で、大人が何をすべきか考え、行動しなくてはいけないと強く感じた」「物事を考察したり、論じたりしている」とする時、多角的かつ具体的な説明が大切であると感じた」といった声が寄せられました。

その他に「現在現場を離れているが、教育の動向を知ることができて嬉しい」など、この研究会がおこなっているのは、施設の子だけではない。家族を頼れない子どもたちの自立支援をどう進めていくかという実践交流会である。

お正月ファミリーパズル当選者発表

お正月ファミリーパズルに
ご応募いただき、ありがとうございます。応募総数122通のうち、正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、県教員の記念講演「日本の教育の課題―選別と教化の圧力に抗して―」を読んだ感想として、「子どもたちの将来を考える上で、大人が何をすべきか考え、行動しなくてはいけないと強く感じた」「物事を考察したり、論じたりしている」とする時、多角的かつ具体的な説明が大切であると感じた」といった声が寄せられました。

その他に「現在現場を離れているが、教育の動向を知ることができて嬉しい」など、この研究会がおこなっているのは、施設の子だけではない。家族を頼れない子どもたちの自立支援をどう進めていくかという実践交流会である。

お正月ファミリーパズル当選者発表

お正月ファミリーパズルに
ご応募いただき、ありがとうございます。応募総数122通のうち、正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、県教員の記念講演「日本の教育の課題―選別と教化の圧力に抗して―」を読んだ感想として、「子どもたちの将来を考える上で、大人が何をすべきか考え、行動しなくてはいけないと強く感じた」「物事を考察したり、論じたりしている」とする時、多角的かつ具体的な説明が大切であると感じた」といった声が寄せられました。

その他に「現在現場を離れているが、教育の動向を知ることができて嬉しい」など、この研究会がおこなっているのは、施設の子だけではない。家族を頼れない子どもたちの自立支援をどう進めていくかという実践交流会である。

Lasse Hall
人集い、街華やぐ交流拠点
2018 Spring

春のバンケットプラン
2018年3/1(木) ▶▶ 2018年5/31(木)
2時間制 20名様~

春のお祝い・お食事会・歓送迎会、様々なシーンに

お料理+フリードリンク
プフェ形式にすると、料理が一品(おかせ)追加でさらにお得に!

くすのきコース	のじぎくコース	こうのとりコース
お一人様 5,000円	お一人様 6,000円	お一人様 7,000円
<ul style="list-style-type: none"> ● コールミート盛り合わせ ● 鯛のタタキ 淡路玉葱添え ● 兵庫産産物 桜鯛の塩焼き ● 若鶏の唐揚げ フライドポテト ● ボークハム肉ソーセージ添え ● ミックスピザ ● 焼きそば ● アサゲ(フーフューコーンにてご提供) ● コーヒー(フーフューコーンにてご提供) 	<ul style="list-style-type: none"> ● オードブル三種盛り合わせ ● お造り三種盛り合わせ ● チーズ入りマヨネーズサラダ ● チキンと兵庫産産物野菜のグリルトマトソース ● 神戸ホクホクの豚角煮 煮玉子添え ● ミックスピザ ● にぎり寿司と巻き寿司(兵庫産産物こしひかり使用) ● ペペロンチーニ(パスタ) ● アサゲ(フーフューコーンにてご提供) ● コーヒー(フーフューコーンにてご提供) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ステーキ(ステーキハウス)のステーキ ● 海老と兵庫産産物野菜の生春巻き ● お造り三種盛り合わせ ● 牛肉ソテー、ラヴィオリソース、彩り野菜添え ● 神戸ホクホクのモロヘイヤソース、カクレパンパル添え ● 若鶏とキャベツの辛味炒め ● ポテトグラタン ● にぎり寿司と巻き寿司(兵庫産産物こしひかり使用) ● 焼きそば ● アサゲ(フーフューコーンにてご提供) ● コーヒー(フーフューコーンにてご提供)

フリードリンク
● 瓶ビール ● 焼酎(麦/芋) ● ウィスキー ● ハイボール
● 赤白ワイン ● 日本酒 ● ウーロン茶 ● オレンジジュース

オプション料理
● にぎり寿司 1,450円~
● 天婦羅 850円~
● そば 600円~
● ステーキ 1,450円~

のじぎくコース・こうのとりコースだけの特典
● 特典として下記の中から1つお選びいただけます(月~木のご利用に限りです)。
● 4月ご利用のお客様はさらに特典を2つお選びいただけます。
(文字情報サービス、30分延長サービス、ドリンク27アイテム追加無料、スクリーン&プロジェクター無料、ツインルーム前室付ケトルプレゼント)

注意事項
● 記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
● 料金は、お料理、フリードリンク、音響・照明費(ワイヤレスマイク等)、会場費(時間)、税金、サービス料が含まれております。
● ご定員の50%以上のお客さまがご来場ください。ご来場人数が不足した場合は、別途料金をお支払いいたします。
● 当日キャンセルの場合は、全額キャンセル料とさせていただきます。当日ご利用人数が不足した場合は、別途料金をお支払いいたします。

記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたします。また、その他オプション等も多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1110
お問い合わせ時間 平日・土 9:00~19:00 日・祝 9:00~18:00

ラッセホール
〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8
TEL.078-291-1117 (代表)
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com